



# いのちの日便り

2022・9・22  
いのち推進  
プロジェクト  
No. 6

## ハートフルメッセージ FF体育祭を終えて…



今年6回目の「一中いのちの日」は、毎年恒例の、FF体育祭の振り返りとして行う、「ハートフルメッセージ」。今年はクラスメイト一人一人に、お互いの頑張りをたたえ合う意味を含めて心温まるメッセージを贈り合いました。

日程変更や制限などもありましたが、赤軍と青軍が力の限り戦ったFF体育祭の陰には、たくさんのドラマがあったようです。

### 生徒の皆さんの感想より・・・

温かいメッセージをたくさんもらいました。体育祭でのかかわりからもらえるこういうメッセージは、僕はとても嬉しかったです。本当は書きたい相手をもっといましたが、時間が足りませんでした。来年も楽しみです。  
(1年1組 渡邊 幸多 さん)



いつも伝えられない気持ちをお互いに伝えられた気がします。とても思い出に残ったし、心があたたまりました。FFそしてハートフルメッセージはとても楽しかったし、とてもうれしかったです。

(1年1組 推名 彩綾 さん)

体育祭は一人で頑張るのではなく、仲間と励ましあうことが大切だと分かりました。また、クラスやチームが一団となってしまうことで仲間との絆が深まったと思います。

(1年2組 熊谷 彩花 さん)

ほかの人の励ましが力に変わったので他の人の大切さに気付かされました。

(1年2組 三浦 寛人 さん)

2年1組のテーマは、「全力・本気で楽しむ」でした。その通り、全力・本気で楽しむことができました。ミスをした時も励ましてくれたり、ポジティブにとらえるクラスのみなんと一緒に熱くなることができて、とても楽しかったです。  
(2年1組 安齋 希風さん)



体育祭を通して、本当にいろいろなことを感じました。嬉しかったことも悔しかったこともたくさんあったけど、全力で取り組み、楽しめたことが一番嬉しかったです。3年生に優勝と応援賞を届けられて心から嬉しいし、感謝したいです。思い出がまた一つ増えました。  
(2年1組 中鉢 星奈さん)



みんなから温かいメッセージをもらったのでよかったです。あまりいい結果ではなかったけれど、全力で体育祭に取り組むことができ、クラス、学校の団結力がより高まったと感じたのでよかったです。  
(2年2組 岩井 絢音さん)

メッセージをもらって、がんばってよかったと思えた。学級目標の「心を一つに」ができたことにより、キセキも少し起こすことができたと思う。その日だけ頑張ってもキセキは少ししか起きないので、日常の生活で「当たり前のこと」をしっかりし、常にクラスが団結できるように自分が変わっていきたい。  
(2年2組 大場 咲季さん)

体育祭で一緒に頑張った仲間に感謝の思いを伝えることができたし、ハートフルメッセージをもらって私はたくさんの人に支えられて生きているのだと思いました。  
(3年1組 青木 綾香さん)

クラスの人にありがとうといってもらってとてもうれしかった。これからも行事だけでなく、日頃から人にありがとうと言ってもらえる人になりたいと思った。  
(3年1組 渡邊 隼さん)

体育祭を通してたくさんの方の頑張りを知ることができ、本当に良かったなと思いました。体育祭のために自分が頑張れたことも、言葉で伝え合うことで実感できて良かったです。  
(3年2組 竹川 友梨子さん)

みんなが、自分が思っていたよりも頑張ったところを書いてくれて、うれしかった。逆に他の人に書こうとすると、その人の良いところも見つけれられて、いい活動になった。  
(3年2組 向田 翔さん)



次の一中いのちの日は10月6日(木)、エンカウターの予定です。